

若竹

第五十四号



平成二十一年度神道青年全国協議会 中央研修会 仙台



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

愛媛県神道青年会

事務局 〒796-0065

愛媛県八幡浜市かみやま510

八幡神社内

TEL 0894-22-0384

FAX 0894-22-2000

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>

巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 十亀 博行



まず以て謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄を御祝い申し上げ、各御社頭の御降昌、皆様方の御多幸をお慶び申し上げます。

また、常日頃より当会の活動に対しましてご理解ご協力を賜っておりましてこの場をお借りしまして衷心より篤く御礼申し上げます。昨年度から引き続き今年度もよろしくお願い致します。

私も会長職を仰せつかって四年目を迎える事となりました。思い起こせば平成十三年度に行われました松山での中央研修会。その時に初めて青年会の理事として役員会などに出させて頂きました。その頃は何もわからず、言われるままに動いていたことを思い出します。しかし、

その後は自分自身の修練、自己研鑽の場として少しでも向上できるように邁進してきた気が致します。その間は数多くの先輩に叱咤激励を受け、時には挫折しそうな時もありましたが、その頃の経験があるからこそ、今があるのだと私なりに理解しています。そして、会長二期目も最後の年。私は、先輩方から引き継いできた襷を次の世代へ確実に繋いでいく事を目標に頑張りたいと思います。

そして、この夏にはこの国の未来を左右すると言っても過言ではない選挙があります。昨年の夏、マスコミの過剰な報道により「政権交代」の名のもと、ばらまきである「マニフェスト」を前面に出し、民主党政権が誕生しました。しかし、それから約八ヶ月(原稿を執筆時)が経ちましたが、皆さんの求めた政治だったのでしょうか？私が申すまでもありませんが、今のままでは未来を担う子供達が大人になった時、この国の在り方がどうなっているのかわかりません。未来に禍根を残す事になりかねません。この国の行く末を左右する戦いである夏の参議院議員選挙では、必ずや斯界が支援する候補者が勝ち関の声を上げ、この国の未来のために活躍できる場を私達の手で作っていかねければなりません。その為にも今私達ができる事を悔いなく行い、共に喜び

あえる姿を思い浮かべ頑張つて行きましよう。

さて、皆さんは自分が住んでいる市や町の自慢できる所はありますか？それを誇りを持って堂々と周りの人に伝える事ができますか？私自身この話を聞いた時に考えさせられました。「隣の芝はよく見える」ではありませんが、自分の住んでいる所には遊園地がない、大きなデパートがない、などと今ある物を見つめることなく、無い物をうらやましくねだっていた感がありました。

しかしながら、じっくりと見てみると私の住む西条市であれば、綺麗な水がある、雄大な石鎚山がある、黄金色に輝く稲穂が稔る平野がある、野菜や果物がたわわに実る畑がある。見つめ直せば色々な良い所がたくさんあります。それがなぜすぐに思い浮かばないのか。どうしてもそれが近くにありすぎて、「当たり前」に感じているのかもしれない。その事により、感謝の気持ち忘れがちになってしまうのではないのでしょうか。今の世の中、何もかもが「当たり前」になってしまい、「ありがとう」や「感謝」を言う事が少なくなつたと聞きます。「ありがとう」とは「有ること難し」。「めつたにない」という意味であり、めつたにない事だからこそ、「ありがとう」とい

う言葉が自然と出てくるのです。そして、自然と手を合わせるのです。

今日からもっと感じてみませんか？朝起きた時、食事をする時、話をする時、人との出会い、生きているのだと言う事を。そして、自分の住んでいる所の素晴らしさを見つめ直してみませんか。

今私達がこの世にいることは、神様のご加護と、祖先から連綿と受け継いできた「こころ」があるからこそ、その喜びを感じる事ができるのです。そして、このまちに生まれ、神様の前で奉仕ができる事、おかげを頂いて生活ができる事への感謝の心を忘れずに、知行合一の思いのもと頑張っていかなければなりません。そして、その思いをしつかりと氏子さんや信徒さん、周りの方々に伝えていくことが私達の役割であると考えます。どうか皆さんも「感謝の心」を自身の「心」として神明奉仕に励んで参りましょう。

また、当会におきましても今年度は「会員相互の交流」を図り、少しでも多くの会員さんと言葉を交わせるようにしていきたいと思えます。あわせ、参議院議員選挙に向けた会員研修会を開催致します。そして昨年に引き続き、広島県青年神職会さんとの交流を行います。昨年は愛媛の地に多くの広島青神の会員さんが来てくれました。今年は広島での交流会とな

ります。色々な方との出会いの中で感謝の心を持ち、しつかりとした「絆」が生まれ、自分自身も成長できる、そして行って良かったと思えるような設えを考えています。また、未来を担う子供たちがこの国を愛し、生まれたことを誇りに思ってくれるような青少年育成事業も行いたいと考えていますので、会員の皆さんもよろしくお願い致します。

新年正式参拝 研修会・互礼会報告



平成二十二年を迎え、新たな気持ちの中、恒例の年頭正式参拝が愛媛縣護國神社にて行われました。十亀会長を始め十名の役員が参列。昨年の感謝の誠を捧げ、国家の安泰と共に本年の決意を護國の英

霊にお祈り、お誓い申し上げました。国際ホテルに会場を移し、午後四時半より新年研修会が二十五名の参加を得て行われました。昨年に引き続きマナー講座の第II弾として、「接客接遇」と題しBS21ブライダルサーピスの門田洋子先生を始め六名の講師先生をお招きし開催しました。

発声練習から始まり、受付・案内・茶菓接待・名刺交換・席次・会食マナーと社務の中で実践に必要な知識を御指導頂きました。社会人としての当然のマナーではありますが、頭では理解していても、いざ実践となると行動が伴わないことがあります。いつ参拝者や来訪者が来られても、気持ちの良い接遇が出来るように日頃からの努めを大切にしていかなければならないと感じました。



互礼会では、二名の講師先生にも参加をして頂き、長曾我部庁長を始め神社庁役員の皆様、青年会OBの先輩方をお迎えし、和やかな雰囲気の中、交流・懇親を深めさせて頂きました。

《十亀雅史》

慰問神楽

『今治市桜井 志々満保育園』

十二回目となる慰問神楽を、去る三月九日、当会会員有志に加え、伊豫豆比古命神社巫女・伊予神楽の皆様方のご協力を戴き、総勢二十一名で、境内地が国指定の名勝地 志島ヶ原の名で有名な、今治市桜井の綱敷天満神社内の志々満保育園で開催しました。



当日は、未明からの寒波と糞まじりの雪がひどく、高速道路の通行止めや、一般道での交通渋滞が発生し、開演は当初の予定時間を凡そ、一時間遅れてしまう結果となりました。

演目のはじめは、伊豫豆比古命神社巫女による『悠久の舞』を披露し、華麗に舞う姿に園児たちから「きれい」と歓声が上がっていました。

次に、伊予神楽の『弓の舞』となると、「縄跳び」ならぬ「弓飛び」の舞に拍手喝采！更に矢が放たれば、矢も舞も両方気になり熱い視線があつちへこつちへと大忙しでしたが、『越殿楽』へと代わると、園児たちは優美な音色を静かに楽しんでいました。

ところが、楽器紹介になると探究心が目覚め、十亀会長の鐘鼓紹介のコメント、「しよう子チャンじゃないよ」という一発ギャグに火が着き、場内は大爆笑！脱線寸前のところで何とか建て直し、大トリの『大蛇の舞』へと進みます。今度は鬼の出現に恐怖の声ががりはじめ、「怖いーっ！」と云いながら先生に抱きつく子もいました。さつきまでの大爆笑と探究心は、園児たちから大人たちへと代わり、中でも鬼は探究心が大爆発したのか！『うをおく』と雄叫びをあげて園児たちに大接近！しかし、形勢逆転も

長くは続かず、園児たちから反撃の狼煙が上ががり、急遽「行可待った」ならぬ「先生待った」で一休休戦、難を逃れた鬼さんでしたが、やがてヤル気満々の『鬼討伐隊』の集中攻撃で敢えなく撃沈されました。



全ての演目も結びとなり、十亀会長が余興の「アンパンマン」を籠笛で奏で、園児約八十名と、観覧にお越しの保護者や地域の皆さん、高齢者施設の利用者さん全員で大合唱し、賑やかに終演となりました。

末筆に、ご協力を賜りました志々満保育園 菅千代美園長をはじめ、各クラスの先生方、関係各位の皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

《高橋政裕》



最後に総会決議が上程され、満場一致で採択されました。その決議文を記し総会報告とさせて戴きます。

平成二十二年度定例総会決議

教育勅語渙発百二十年を迎える本年、我々青年神職は改めてその大御心を戴き、昨今の我が國の時局の乱れを正すべく関係諸団体との連携の下、迅速且つ有効な諸活動を積極果敢に展開し、更なる研鑽を積んで神道興隆を図り、以て神武創業以來二千六百七十年に亘り培はれた、美しい國體の恢復を実現せんことを期する。右、決議する。

平成二十二年四月二十七日

神道青年全国協議会
第六十二回定例総会

《清家貞文》

第三十九回定時総会報告

平成二十二年五月十二日(水) 国際ホテル松山に於いて、十亀会長以下二十名の会員出席のもと定時総会が開会されました。

十亀会長の挨拶の後、議長が選出され議案審議に入り、平成二十一年度会務報告・決算報告・監査報告、平成二十二年活動計画案・予算案とすべての議案に於いて、円滑な進行により全会一致で承認され、滞りなく閉会致しました。

総会後、同ホテルにて、十亀興美副庁長をはじめ、本会元会長の眞鍋豊孝先輩と本会OBの後藤正宜先輩のご出席を賜り懇親会が開かれました。十亀会長の挨拶に始まり、十亀副庁長より、混沌とした今の日本国において私たち神職が成すべきことを、暖かくも厳しく指針を示してください、身の引き締まる思いになりました。引き続き、後藤正幸新入会員の熱意溢れる挨拶があり、後藤正宜先輩の乾杯のご発声により懇親会の宴を開催致しました。懇親会半ばには、昨年引き続き十亀会長作成の、昨年度の本会活動内容をスライドショーにて紹介し、懐かしさと共にまた本年度もより一層に邁進する思いに掻き立てられました。最後に、眞鍋豊孝先輩の中締めにて懇親会を盛大なる内に納めることとなりました。

その後、本会初となる二次会ボウリング大会を行いました。眞鍋先輩もご参加下さり、十四名の会員参加にて四チームに分れてほろ酔いの中、真剣に一球入魂する会員あり、人のレーンに一球入魂し笑いをとる会員ありと、普段では見ることの出来ない会員の姿も垣間見ること出来、より一層会員同士の親睦が深められた良い機会になりました。

これより私たち青年会の成すべき活動を、会員が一つになり心を込め、務めて参りたいと思います。また、本会活動に参加されたことない会員の皆様のご参加を、この場をお借りしてお願ひ申し上げます。

以上を持ちまして、定時総会並びに懇親会の報告とさせていただきます。

《善家祐二》



平成二十一年度 会務報告

平成二十一年

起 平成二十一年 四月 一日
至 平成二十二年 三月 三十一日

四月 八日

第一回役員会
〔十亀会長以下十三名参加〕
伊豫豆比古命神社

二十三日

神道青年全国協議会 創立六十周年記念大会
〔東京 グランドプリンスホテル赤坂〕
記念講演 「日本の昨日、今日、明日」
講師 靖國神社崇敬奉賛会 会長
扇 千景 先生

二十四日

神道青年全国協議会 第六十回定例総会
〔十亀会長以下八名出席〕
〔神社本庁〕

五月 十二日

第二回役員会
〔十亀会長以下十三名参加〕
〔国際ホテル松山 聚楽の間〕

全

第三十八回 定時総会
〔十亀会長以下二十一名参加〕
〔全 聚楽の間〕

全 懇親会
〔長曾我部庁長他御來賓五名御出席〕
〔全 伊予の間〕

六月 一日

会報「若竹・第五十二号」発行
〔十亀会長以下二十名参加〕

八日

神道青年四国地区協議会 第一回役員会
〔十亀会長以下七名出席〕
〔徳島県 〔神社庁〕〕

九日

女子神職会第二十二回 定時総会
〔田内副会長代理出席〕
〔神社庁〕

十日

第三回 役員会
〔十亀会長以下十二名参加〕
〔伊曾乃神社〕

十二日

日本会議愛媛県本部 総会
〔田内副会長代理出席〕
〔みゆき会館〕

二十四日

愛媛県神社庁第二回 定例協議委員会
〔十亀会長出席〕
〔神社庁〕

七月 十五日

第四回 役員会
〔十亀会長以下十三名参加〕
〔伊豫豆比古命神社〕

全

広島青年神職会との交流会
正式参拝
〔伊豫豆比古命神社〕

交流親睦会
〔十亀会長以下十九名参加〕
〔すし丸〕

七月二十九日

神道青年全国協議会
〔北方領土の碑〕における創立六十周年奉告祭
並びに北方領土早期復帰祈願祭
〔十亀会長以下二名参列〕
〔北海道〕

八月 六日

神道青年四国地区協議会
第十五回 定例総会並びに研修会
正式参拝
〔高知県 土佐神社〕

七日

閉講式
〔高知バレスホテル〕

研修会
〔心豊けき國〕
〔全〕

第一講「我が國の現状」
講師 衆議院議員
中谷 元 先生
〔全〕

懇親会
第二講「土佐民話の神さま」
講師 土佐民話の会 会長
市原 麟一郎 先生
〔全〕

閉講式
〔十亀会長以下十名出席〕
〔全〕

野外体験親睦会
〔十亀会長以下十八名参加〕
〔成川溪谷〕

神道青年全国協議会 夏期セミナー
『生成期の現代神道』其一
〔神社本庁〕

第一講「国学と現代神道」
講師 國學院大學研究開発推進機構 准教授
松本 久史 先生

第二講「皇学と現代神道」
講師 皇學館大學 准教授
松本 丘 先生

第三講 討論「国学皇学を如何にして実践するか」
発題者 神道青年全国協議会 会長 春木 秀紀
神道青年全国協議会 監事 上田 正宙
コメンテーター 松本 久史 先生
松本 丘 先生

司会 神道青年全国協議会 副会長 長曾我部 昭一郎
〔東温市 三奈良神社 宮司 森 正史 様〕

第二十七回 観月神楽の夕べ
〔十亀会長以下二十一名参加〕

九月 六日

〔伊豫豆比古命神社〕

〔すし丸〕

〔伊豫豆比古命神社〕

〔すし丸〕

- 九日 神道青年四国地区協議会
第十二回 神道行法鎮成会
(十亀会長以下十五名出席) 【石鎚神社】
- 十日 神道青年四国地区協議会
第二回 役員会
(十亀会長以下七名出席) 【西条国際ホテル】
- 十六日 第五回 役員会
(十亀会長以下十一名参加)
初詣啓発ポスター発送作業
(十亀会長以下十八名参加) 【全】
会員研修会(AED講習)
(十亀会長以下十八名参加) 【全】
- 十一月十二日 天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典
奉祝まつり (皇居外苑) 【全】
祝賀式典 (皇居前広場) 【全】
- 二十五日 (十亀会長以下二名出席)
三島森田両烈士追悼三十九周年慰霊祭
【伊豫豆比古命神社】
- 二十六日 第六回 役員会
(十亀会長以下十名参加) 【全】
- 二十七日 神道青年全国協議会 遷宮啓発研修会
パネルディスカッション (三重県) 【三重県】
- 講師 作家・環境保護活動家 C.Wニコル 先生
講師 神宮司庁 広報室次長 河合 真如 先生
講師 福寿園 取締役副社長 福井 正興 先生
講師 J.A全農 管財課長 鷹野 尚志 先生
コーディネーター 先生
- 神道青年全国協議会 会長 春木 秀紀
交歓会
- 遷宮啓発に関わる意見交換会
(十亀理事以下二名出席)
- 神道青年四国地区協議会 第三回 役員会 【香川県】
(十亀会長以下五名出席)
- 神道青年四国地区協議会
第五回親睦ボウリング大会
(十亀会長以下六名出席) 【大洋ボウル】

平成二十二年

- 一月 一日 会報「若竹・第五十三号」発行
年頭正式参拝 (愛媛縣護國神社)
- 十八日 (十亀会長以下十名参拝) 【愛媛縣護國神社】
- 全 第七回 役員会 【国際ホテル松山 パールの間】
(十亀会長以下十一名参加) 【全 ルビーの間】
- 全 新年研修会
演題 マナー講座II「接客接遇」
講師 BS21取締役チーフアナウンサー
門田 洋子 先生 【全 ルビーの間】
- 全 (十亀会長以下二十一名参加)
新年五礼会 【全 伊子の間】
- 三月 二日 《長曾我部庁長以下御来賓十名御出席》
(十亀会長以下二十一名参加)
第八回 神道政治連盟時局対策連絡会議並びに
神道青年全国協議会合同研修会 【自民党本部・神社本庁】
- 九日 (十亀会長以下三名出席)
慰問神楽 【今治市 志々満保育園】
(十亀会長以下二十一名参加) 【素鷲神社】
- 全 第八回 役員会 【素鷲神社】
- 十六日 (十亀会長以下八名参加)
神道青年全国協議会 中央研修会
『己の一分』 【宮城県】
- 十七日 第一講「明治精神を学ぶ」
講師 高崎経済大学教授 八木 秀次 先生
第二講「日本のこれから」
講師 お茶の水女子大学名誉教授 藤原 正彦 先生
第三講「可能性への挑戦」
講師 大相撲解説者・スポーツキャスター
舞の海 秀平 先生
(十亀会長以下十一名出席) 【伊豫豆比古命神社】
- 四月 一日 会計監査会
(十亀会長以下四名参加)

皆様方に御協力を賜り会務が遂行出来ました事に深謝致します
会長 十亀 博行

愛媛県神道青年会 平成 21 年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日

歳入の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減 (△減)	付 記
1 会 費	750,000	642,000	△ 108,000	年会費・定時総会費・新年互礼会々費・監査会慰労金費他
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,300,000	1,616,000	316,000	県内神職寄付金・諸事業援助金
4 雑 収 入	29,751	110,640	80,889	神青協事業還付金・事業収入・床几
5 繰 越 金	420,249	420,249	0	平成 20 年度より
歳 入 合 計	2,700,000	2,988,889	288,889	

単位：円

歳出の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減 (△減)	付 記
1 会 議 費	700,000	548,196	△ 151,804	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研 修 教 化	650,000	560,500	△ 89,500	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・会員研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	230,000	334,950	104,950	初詣啓発ポスター・床几・盛塩器頒布事業
4 広 報 費	270,000	293,855	23,855	若竹 52 号 / 53 号作製費及び発送費
5 事 務 費	120,000	152,085	32,085	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	0	△ 10,000	
7 旅 費	320,000	320,000	0	神青協総会・神青協役員旅費補助
8 慶 弔 費	40,000	33,253	△ 6,747	慶弔金・電報代
9 分 担 費	280,000	274,000	△ 6,000	神青協及び地区協離出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	0	△ 10,000	
12 予 備 費	20,000	0	△ 20,000	
歳 出 合 計	2,700,000	2,566,839	△ 133,161	

歳入合計 2,988,889 歳出合計 2,566,839 差引残高 422,050

平成 22 年度に繰越

平成 22 年 4 月 1 日 愛媛県神道青年会役員会提出

平成 22 年 4 月 1 日

上記の通り相違ない事を認めます

平成 22 年 4 月 1 日

監 事 阿 部 茂 之

監 事 長 曾 我 部 昭 一 郎

愛媛県神道青年会 平成 22 年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日

歳入の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減 (△減)	付 記
1 会 費	750,000	800,000	50,000	年会費・定時総会費・臨時総会費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,300,000	1,300,000	0	県内神職寄付金・諸事業援助金
4 雑 収 入	29,751	77,950	48,199	事業収入
5 繰 越 金	420,249	422,050	1,801	平成 21 年度より
歳 入 合 計	2,700,000	2,800,000	100,000	

単位：円

歳出の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減 (△減)	付 記
1 会 議 費	700,000	700,000	0	定時総会・臨時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研 修 教 化	650,000	670,000	20,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・会員研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	230,000	230,000	0	初詣啓発ポスター・床几・盛塩器頒布事業
4 広 報 費	270,000	270,000	0	若竹 54 号 / 55 号作製費及び発送費
5 事 務 費	120,000	120,000	0	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	320,000	400,000	80,000	神青協総会・臨時総会・神青協役員旅費補助
8 慶 弔 費	40,000	40,000	0	慶弔金・電報代
9 分 担 費	280,000	280,000	0	神青協及び地区協離出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	10,000	0	
12 予 備 費	20,000	20,000	0	
歳 出 合 計	2,700,000	2,800,000	100,000	

歳入合計 2,800,000 歳出合計 2,800,000 差引残高 0

平成 22 年 4 月 8 日 愛媛県神道青年会役員会提出

平成二十二年度活動計画

四月	八日	第一回 役員会	【八幡神社】
	二十六日	神道青年全国協議会 春期セミナー	【神社本庁】
	二十七日	神道青年全国協議会 第六十二回 定例総会	【全】
五月	十二日	第二回 役員会	【国際ホテル松山】
	全	第三十九回 定時総会並びに懇親会	【全】
	二十日	神道青年四国地区協議会 第一回 役員会	【高知県】
六月	十日	第三回 役員会	【伊豫豆比古命神社】
	十六日	広島青年神職会との交流会	【全】
	十七日	正式参拝	【広島護国神社】
		交流親睦会	【芸州本店】
七月		第四回 役員会	
八月	五日	神道青年四国地区協議会	
	六日	第十六回 定例総会並びに研修会	【香川県】
八月	九日	野外体験親睦会	【多田羅キャンプ場】
八月	三十日	神道青年全国協議会 夏期セミナー	【神社本庁】
九月	九日	神道青年四国地区協議会	
	十三日	神道行法錬成会	【徳島県】
九月	十日	神道青年四国地区協議会 第二回 役員会	【徳島県】
		初詣啓発ポスター発送作業	【愛媛県神社庁】
九月		第五回 役員会	【愛媛県神社庁】

九月		第二十八回 観月神楽の夕べ	【新居浜市 宗像神社 宮司 合田富美子様】
十月		第六回 役員会	
	十一月二十五日	第七回 役員会	【伊豫豆比古命神社】
	全	三島森田尚烈士追悼四十周年慰霊祭	【全】
十二月		神道青年四国地区協議会 第三回 役員会	【愛媛県】
	十二月	神道青年四国地区協議会	
		第六回 親睦ボウリング大会	【全】
一月		会報「若竹・第五十五号」発刊	
一月		第八回 役員会	【国際ホテル松山】
一月		臨時総会・新年研修会・新年互礼会	【全】
二月		第九回 役員会	
三月		第十回 役員会	
三月	十七日	神道青年全国協議会 中央研修会	【福井県】
	十八日		

●その他、役員会にて議案審議

※(未定) 慰問神楽 青少年育成事業
 【松山市 河野保育園】

平成二十一年度 助成寄付御芳名

※願不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

〔東予〕

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

十亀 興美 殿

金 伍萬圓也

大山祇神社

三島 喜徳 殿

金 參萬圓也

一宮神社

矢野 哲夫 殿

金 貳萬圓也

矢矧神社

新居 支部 殿

石岡神社

金 壹萬伍仟圓也

今宮神社

越智 基晃 殿

吹揚神社

村山神社

佐藤 伊都男 殿

橘新宮神社

原八幡大神社

田窪 久 殿

玉生八幡神社

嘉母神社

橋田 嘉津雄 殿

榑本神社

熊野神社

矢野 敬陽 殿

荒木八幡大神

伊曾乃神社

石川 雅司郎 殿

高尾神社

井上 千賀司 殿

松本 恒夫 殿

金 參仟圓也

土居神社

矢野 耕一郎 殿

綾延神社

大山八幡大神

三島神社

大井八幡大神社

白山神社

湊浦八幡神社

三嶋神社

高浜八幡神社

風伯神社

須賀神社

大島八幡神社

大浜八幡大神社

潮早神社

姫坂神社

多伎神社

加茂神社

堀江神社

生名八幡神社

金 八仟圓也

大西神社

金 伍仟圓也

喜多浦八幡大神神社

三島神社

八幡大神社

奈良原神社

金生八幡宮

碓掛天満宮

賀茂神社

野間神社

森 正康 殿

河上 勝昭 殿

川崎 正典 殿

榑部 浄文 殿

大岡 益子 殿

矢野 宗保 殿

越智 静治 殿

龜山 和麿 殿

大野 一郎 殿

藤原 裕博 殿

矢野 秀綱 殿

桧垣 壮次 殿

浅海 宜英 殿

沼崎 守文 殿

沼崎 守文 殿

池内 公和 殿

合田 千里 殿

西村 純子 殿

及川 徹也 殿

馬越 祥徳 殿

垂水 晋介 殿

安藤 潔 殿

竹之内 紀久江 殿

合田 正士 殿

小池 清史 殿

上甲 一則 殿

鴨頭 司 殿

矢野 耕一郎 殿

弓削神社

〔中予〕

金 壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

金 伍萬圓也

愛媛縣護國神社

金 參萬圓也

神社庁

金 貳萬九仟圓也

神社庁

金 貳萬圓也

嚴島神社

伊豫稻荷神社

金 壹萬圓也

桑原八幡神社

三嶋大明神社

還熊八幡神社

雄郡神社

正八幡神社

大宮八幡神社

忽那島八幡宮

勝岡八幡神社

高繩神社

金刀比羅神社

湊三嶋大明神社

波賀部神社

河崎神社

井手神社

松山神社

金 伍仟圓也

諸山積神社

武智 昭彦 殿

正岡 一男 殿

横田 貞子 殿

梅木 匡人 殿

武智 彰宏 殿

渡部 定詔 殿

大谷 伸二 殿

正岡 重岩 殿

武智 輝子 殿

大宮 信篤 殿

眞鍋 和敏 殿

重松 讓 殿

高市 誠司 殿

玉井 次明 殿

大内 正人 殿

石丸 剛司 殿

星野 暢廣 殿

柳原 宰 殿

伊予 支部 殿

松山 支部 殿

小川 純生 殿

長曾我部延昭 殿

川原啓三郎 殿

〔青年会御卒業〕

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方をご紹介いたします

白山神社 権禰宜 (元理事)

大岡 忠徳 様

八幡神社 禰宜

竹内 啓 様

石鏡神社 権禰宜

佐々木規人 様

大山祇神社 禰宜

三島 安雅 様

勝岡八幡神社 権禰宜

武智 寛文 様

三島神社 禰宜

渡邊 直宣 様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜りまして誠に有難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。

今後尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

会員研修会の案内

愛媛県神道青年会では青年神職の更なる研鑽の為、研修会を開催致します。

今、世の中が混沌とし、私達の生活も不安定で、どのようにこれから進んでいくのか、自分たちの目で見定める時期が来ています。

そのような中で本年は参議院議員選挙が行われる年であります。

まずは今、政治がどのような方向に向かっているのか、青年神職として自分たちはこれから何をすべきなのか。共に考えて行くべく、左記の通り研修会を開催致します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時・・・六月十日 午後四時半から

内容・・・第二十二回 参議院議員選挙に向けて

向けて

講師・・・久富真人先生 (神青協前会長)

対象・・・県内神職

会場・・・伊豫豆比古命神社 会館

詳細につきましては、HP等にもお知らせして参ります。

チラシ・ポスター・パンフレット等
各種印刷物お取り扱い致します

プラス印刷株式会社

代表取締役 植木 美夫

〒七九三-〇〇四六

西条市港宇新地一三三-四

電話 〇八九七-五六一三三三七

FAX 〇八九七-五六-三二二一

皆様からのご用心より

お待ちしております

～愛媛県神道青年会主催～
『第7回野外体験親睦会in 多々羅キャンプ場』

【と き】 平成 22年 8月 9日(月) 仏滅

【と ころ】 愛媛県今治市上浦町井口9180-4

【趣 旨】 大自然にふれ、会員相互の親睦はもとより、会員の家族子弟を含めた親睦を深めることを目的とする。

【参加資格】 愛媛県神道青年会役員・会員・OB、またその家族・子弟、当県神社界に携わる者。

【概 要】 8月9日 集合時間:午前10時を目安に随時集合

集合場所:多々羅キャンプ場 住所 愛媛県今治市上浦町井口9180-4 電話 0897-87-3855
 HP <http://www.go-shimanami.jp/shisetsu/kamiura/004.html>

宿泊施設:ロッジ或いはテントで前日からとまることができますが予約状況によっては取れないことがありますのでご了承ください、そのため希望者は至急ご連絡ください。

8月9日 BBQ:12時～

場 所:多々羅キャンプ場 住所 愛媛県今治市上浦町井口9180-4

【注意事項】 会費を超える予算の取り扱いについては参加者全員での分担となります事をご理解下さい。尚、開催地までの交通費は自己負担となります。

【必要経費】 参加費未定 目安は 大人1人 2,000円 小学生以下 1,000円程度

【その他】 愛媛県神道青年会主催ではありますが参加者全員で作り上げる行事ですので皆様の寛大な心でのご協力をお願い申し上げます。

【参加申し込み】 締め切り日は 7月7日とします。出来るだけ早めをお願いします。

下記のFAX用紙にてお申し込み下さい。

F A X 0895-22-1282 八幡神社 渡部 太輔

【お問い合わせ】 愛媛県神道青年会 渡部 太輔 090-7623-8623

※ 台風、災害等、安全確保出来ない状況の場合は中止とさせていただきます。

※ 当日の催し物は、バーベキュー、スイカ割り、海水浴、温泉など、計画しております。その他リクエストがございましたら、申し込み用紙にお書き添え下さい。

平成22年度愛媛県神道青年会 第7回野外体験親睦会in 多々羅 参加申込書

申込日 平成 年 月 日

代表者住所	(〒) 愛媛県				
	携帯電話番号				
ふりがな 代表者氏名	男 女	昭和 平成	年	月	日生 才
ふりがな 氏 名	男 女	昭和 平成	年	月	日生 才
ふりがな 氏 名	男 女	昭和 平成	年	月	日生 才
ふりがな 氏 名	男 女	昭和 平成	年	月	日生 才
ご意見 ご要望					

新入会員紹介

高忍日賣神社 権宜

後藤 正 幸



「高知県・潮江天満宮で五年間の奉仕を経て、この度郷里の愛媛に戻り、高忍日賣神社権宜を拜命致しました。」

はございますが、今後共御指導・ご鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。

- | | | | |
|---------|----|-----|----|
| 三嶋神社 | 権宜 | 堀川 | 翔央 |
| 大山八幡大神 | 権宜 | 河上 | 秀史 |
| 大亀八幡大神社 | 権宜 | 矢野 | 敬三 |
| 八幡神社 | 権宜 | 福田 | 広寿 |
| 日吉神社 | 権宜 | 都子野 | 清紀 |
| 三島神社 | 権宜 | 高市 | 淳史 |
| 三島神社 | 権宜 | 芥川 | 幹 |
| 八尺神社 | 権宜 | 清家 | 太郎 |
| 野坂神社 | 権宜 | 進藤 | 雄作 |
| 白山神社 | 権宜 | 那須 | 重昭 |
| 大本神社 | 権宜 | 大野 | 直基 |
| 宇和津彦神社 | 権宜 | 山田 | 博士 |
| 和霊神社 | 権宜 | 三瀬 | 典昭 |
- 以上の新入会員です。

結婚報告

石鎚神社 権宜 高岡 健

はづき



平成二十一年十一月八日、石鎚神社片岡功好権宜夫妻を仲人とし、石鎚神社本社に於きまして、婚礼の儀を執り行いました。神縁人縁を戴き、現在に至ったことに深く感謝致しております。

これより後は、二人共に精進し、互いに助け合い、良き家庭を築き上げていきたいと思っております。

まだまだ未熟な身であります。諸先輩方の御指導、御鞭撻等宜しく御願い申し上げます。

神道青年四国地区協議会行事案内

○第十六回定例総会・研修会

平成二十二年八月五日(木)・六日(金)

香川県神道青年会担当にて開催。

○第十三回 神道行法錬成会

平成二十二年九月九日(木)

徳島県青年神職会担当にて開催

詳細につきましては、HPにて随時お知らせして参ります。奮ってご参加下さい。

編集後記

役員も二年目を迎え、気持ち新たに
して望んで参ります。

会長挨拶・会員研修にもあるように、
今年には参議院議員選挙の年であり、また
単位会に於いては、新たに青少年啓発事
業も本年度に行う計画をし、広島に向
いての広島青神との交流会も企画してい
ます。

継続事業・新規事業と様々ありますが、
会員各位のご協力の下に成り立っていく
ものと思えます。ご参加いただきまして、
愛媛の輪と和を広げていきましょう。

会員の皆さんと共に勉強することは勿
論のこと、先輩方からの御助言をいただ
きながら歩んで行くべく、今後も引き続き、
御指導戴きますこと宜しく御願い致します。

(雅)